

## 第32回日本脊椎関節炎学会学術集会について

「つなぐつながる診療」をテーマに、第32回日本脊椎関節炎学会学術集会は、第37回日本乾癬学会学術大会(2022年9月9日~10日)と連続開催をいたします。そのため、会場は、乾癬学会にあわせて、かごしま県民交流センターになります。コロナ感染状況はまだ十分には予測が付きませんが、現地に集まっただけのような準備とさらに、ご都合や遠方で参加できない皆様のためにも、Web配信も予定しております(ハイブリッド開催)。

さて、テーマである「つなぐつながる診療」は、脊椎関節炎をめぐる他科との診療連携は言うまでもなく、それぞれの診療科からの疾患への診断・治療へのアプローチを理解することで、レベルの高い診療につながると思います。脊椎関節炎にかかわる疾患ドメインをいつもバラバラに診療するのではなく、総合的に診療できるようになることも必要で、その結果、十分な連携を取ることができると思います。とても、専門性の高い領域であり、簡単には理解できない疾患を紐解き、最良の治療を提供することも、私たちの大きな力になると思います。乾癬学会との共同シンポジウムはもちろんのこと、基本的な学びとなる教育講演や、難治例・診断困難例の症例検討など、皆さんと議論できるような場所を多数用意しております。

乾癬学会・脊椎関節炎学会の共同シンポジウムでは、亀田秀人先生にご企画をいただき、脊椎関節炎学会側から、岸本暢将先生には「What's New in PsA」、野崎太希先生には「PsAの体軸および末梢の画像所見」のご講演、また乾癬学会からは朝比奈昭彦先生(東京慈恵会医科大学皮膚科)には、「国内外のPsAガイドライン」、山口由衣先生(横浜市立大学大学院医学研究科環境免疫病態皮膚科学)には「皮膚からみる乾癬性関節炎」のお話をいただきます。教育講演では、辻成佳先生に「SpA・PsAの骨粗鬆症について」、岸本暢将先生には「SpA/PsA UpDate」など、最新のお話しでもあり、一方、わかりやすく乾癬学会に参加する皆様にもご参加いただけるようにしました。シンポジウムIでは、SpAの最新研究として、岡田随象先生(大阪大学大学院医学系研究科遺伝統計学)には、「遺伝統計学による疾患病態解明」、小俣康徳先生(東京大学整形外科・骨・軟骨再生医療講座)には「ILC2による骨代謝の関与」、渡邊玲先生(大阪大学大学院医学系研究科アレルギー免疫疾患統合医療学)には、「脊椎関節炎とresident memory T細胞」のご講演をお願いしております。その他、ホットな領域である掌蹠膿疱症・掌蹠膿疱症性骨関節炎に関するスポンサードシンポジウムを用意しました。

一般演題は、43演題と過去から比べても非常に多い演題数が集まりました。ポスターセッションとしても、感染に留意して短い時間ではありますが、懇親の場を設けたいと思います。多数の一般演題の登録、ありがとうございました。

是非、多くの皆様のご参加、現地でも Web でも期待しております。

日本脊椎関節炎学会 第32回学術集会 会頭  
名古屋市立大学大学院医学研究科 加齢・環境皮膚科学  
森田明理



テーマ：つなぐつながる診療

会 期：2022年9月10日（土）11日（日）

会 場：かごしま県民交流センター（鹿児島市山下町）

〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号

U R L：https://jss32.jp/